

地質ニュース

昭和 45 年 2 月

第 186 号

1970

解 説	日本の地球化学.....地球化学課 1 化 学 課
トピックス	九州西方甌島周辺海域の海洋地質調査海底地質調査技術グループ..26
	新潟矢津地すべりを測る岩崎 一 雄..44
	顕微鏡下の岩石④ 古生層の石灰岩とチャート.....片田 正 人 藤 貫 正 義 48 正 井 義 郎
	古気候はどのように変わったか②徳 永 重 元..52
	電気探査法 ~基礎と応用~.....小 野 吉 彦..37
海外事情	アフガニスタンのベリル鉱床.....安 斎 俊 男..58
	学 会 掲 示 板.....57

編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

鱗 珪 石 Tridymite SiO_2 [和田標本 約2.5倍
熊本県熊本市島崎町石神山産]

先月号にひきつづいて同じ化学成分 SiO_2 の鉱物である鱗珪石の結晶標本を示す。珪石は 水晶よりもより高い温度条件で安定な鉱物で結晶系も結晶構造も水晶とは違う。天然では 火山岩が固結する最末期に 晶洞中に晶出するのが普通で そのため結晶は一般に非常に小さく 顕微鏡でみとめられる程度である。火山国の日本には 肉眼的な結晶を産する産地が10ヶ所ほどあるが 中でも石神山の輝石安山岩中の晶洞に産する鱗珪石は立派な六角板状の結晶を示すので有名である。しかし この標本のように径1cm を超えるほど大きな結晶は例外といえよう。私が今まで見た鱗珪石の結晶標本のうちでも最大で おそらく世界的にみても一番大きな結晶だろうと思う。

(文 砂川一郎 写真 正井義郎)

発 行 株式会社 実業公報社